

研 究 紀 要

第 59 卷

学校研究 1 「他者との学び合い」による深い学びを目指す実践研究 ー遠隔合同授業をツールとしてー

- ・「他者との学び合い」を創るオンライン授業（遠隔合同授業）
ー小学部 1 年生国語科の事例ー…………… 2
- ・「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業ー中学部 3 年数学科の実践事例ー …… 8
- ・「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業ー小学部 4 年社会科の実践事例ー …… 13
- ・「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業
ー高等部 2 年保健体育科の実践事例ー…………… 20
- ・「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業
ー高等部 1 年外国語科英語コミュニケーション I の事例ー…………… 25
- ・「他者との学び合い」を創る遠隔合同授業
ー小学部 4 年生図画工作科の実践事例ー…………… 31

学校研究 2 障害の重い子供の生活に生きる教科指導の在り方に関する実践研究

- ・知的障害を併せ有する肢体不自由児に対する
算数・数学科の指導の在り方に関する実践研究
ー「算数の世界」に没頭する単元づくりー…………… 38
- ・知的障害を併せ有する肢体不自由児に対する
体育科・保健体育科の指導の在り方に関する実践研究
ー「意図を感じ取り動きを引き出す」体育の授業づくりを目指してー…………… 44

個人・グループ研究, その他

- ・重度・重複障害児に対する視線入力装置を活用した教材開発と授業実践
ーステップアップに向けた段階表の作成ー…………… 56
 - ・国語科を学習する通常の学級に活用できる特別支援学校の
「個別最適な学び」に着目した実践
ーインクルーシブ教育の視点に立った「書く」と「打つ」との
言語活動を通してー…………… 64
 - ・中学部理科 1 段階「電気の通り道」における疑問をもつ力を育てる指導の展開 75
-

2024年 3 月

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

研究紀要第59巻 執筆要項

I. 原稿の仕様(学校研究, 個人・グループ研究, その他共通)

1. Wordを使用し, A4判に横書き, 2段に段組み, 2,500字(25字×50行×2段)で印字された原稿で, 本文中に図表を入れて完成したものを提出する。
2. 図表(写真も含む)は上記1. とは別に図表のみのファイルを作成し, 加工, 修正が可能な状態で提出する。
3. 表題は, 1ページ目の先頭に2段組みせずに記載(MSPゴシック(太字) 18pt)し, 副題を付ける場合は表題の下に記入(MSPゴシック(太字) 16pt)する。さらに, 執筆者名はその下に記入(MSPゴシック(細字) 12pt)する。
4. 要旨(アブストラクト)は, 表題(および副題)の下に, 2段組にせず400字以内で記載(MS明朝体(細字) 9pt)する。
5. 1名による執筆の表題, 執筆者名, 本文, 図表, 文献等を全て含めた原稿の刷り上がり頁数は11ページを上限とする。ただし, 2名による共同研究の執筆の場合は19ページを上限とし, 3名以上による共同研究の執筆の場合は29ページを上限とする。
6. フォルダ内の元ファイルを使用して作成し, 上書き保存はしないようにする。

II. 文献

1. 本文において引用されたすべての文献(引用文献)は, 論文の最後に著者名をアルファベット順(アイウエオ順ではない)に一括して記載する。記載の様式は以下のとおりとする。

雑誌: 著者名(西暦年)題目, 雑誌名, 巻数(必要な場合は号数), 開始頁-終了頁,

著書: 著者名(西暦年)書名, 出版社, 出版地(国内は省略), 開始頁-終了頁。(頁は省略可)

(例)

1) 宇野彰 (2007) ことばとこころの発達と障害. 永井書店

※文献記載の書式の詳細については「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引きを参照

2. 引用文献, 参考文献の番号のふり方は 1) 2) 3) …のように全角数字と片カッコとする。

III. 研究倫理の遵守

執筆者は論文の内容について十分に人権および研究倫理上の配慮をしなければならない(個人情報に関する配慮や写真掲載の許諾など。)また, 研究実施の際に配慮した研究倫理に係る事項があれば, 論文中に記載すること。

謝 辞

本研究紀要の作成に当たり，以下の先生から貴重な御示唆を頂戴いたしました。ここに記して，謝辞の意を表します。

筑波大学人間系教授
筑波大学人間系教授

川間健之介 先生
竹田 一則 先生

研究同人

令和4年度

篠塚 明彦（校長） 田丸 秋穂（副校長） 田村 裕子（研究部長）

学校研究 1

国語科

有井 香織 岡部 盛篤 加藤 隆芳 戸谷 誠 中島 怜央 原 怜子
藤川 華子

算数・数学科

磯部 健人 岡本 義治 葛原 康崇 小泉 信子 齊藤 萌楓 類瀬 健二
原 渚 山浦 和久

社会科

木村美佳子 小林 博信 笹木昌太郎 新 洋子 竹田 恵

理科

林 秀輝 村主 光子 山田 一幸 吉岡 美紀

外国語科（英語）

小園 慶子 河野 文子 小泉 清華 高橋佳菜子 田辺 洋子 三浦 義也

体育・保健体育科

岩井 俊夫 岡崎 志乃 寒河江 核 杉林 寛仁 竹内 友乃 永田 悠祐

音楽 / 図工・美術 / 技術・家庭科

荒木 哲弥 谷川 裕子 久津 京子 平原奈津美 山口 智帆 吉田 俊子

学校研究 2

算数・数学科

石田 周子 上原由香理 大川原 恒 金子 栄生 中川新太郎 成田美恵子
橋本 陸 濱田 律子 和久田高之

体育・保健体育科

大石 京子 小山 信博 佐々木高一 鈴木 泉 戸田 尚太 蛭田 史子
福谷 憲司 福西 八光 柳田 和美

関塚奈保美（養護教諭）

向山 勝郎（筑波大学附属特別支援学校連携推進グループ）

筑波大学
附属桐が丘特別支援学校

研究紀要 第59巻

2024年3月15日 印刷

2024年3月31日 発行

発行者 東京都板橋区小茂根2丁目1番12号 電話 (03) 3958-0181 (代)
(〒173-0037) FAX (03) 3958-2090

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

印刷所 ヤマノ印刷株式会社 電話 (03) 3253-8851

Bulletin
of
Kirigaoka School for the Physically Challenged,
University of Tsukuba

Vol. 59

School Research 1: Practical Studies aiming to Learn Deeply by Making Interactive Lessons : through Remote Joint Lessons

- Remote Joint Lessons to Create “Learning with Others”: Case of Elementary School 1st Year Japanese 2
- : Case of Junior High School 3rd Year Mathematics 8
- : Case of Elementary School 4th Year Social Studies 13
- : Case of High School 2nd Year Health and Physical Education 20
- : Case of High School 1st Year English Communication I 25
- : Case of Elementary School 4th Year Art and Handicraft 31

School Research 2: Practical Studies on How Teaching Subjects to Children with Severe Disabilities Should Be

- Practical Study on How It Should Be to Teach Arithmetic, Mathematics to Children with Intellectual and Physical Disabilities: Designing Lesson Plans to Make Children Immersed in “the World of Mathematics” 38
- Practical Study on How It Should Be to Teach Health and Physical Education to Children with Intellectual and Physical Disabilities: Toward the Creation of Physical Education Classes to “Sense Intentions and Draw Out Movements” 44

Individual / Group Research and Other

- Development of Teaching Materials and Classroom Practice Using Gaze Input Devices for Children with Severe and Multiple Disabilities: Creation of a Step-by-Step Chart ... 56
- Practices Focusing on “Individualized Optimal Learning” in Special Needs Schools that Can Be Utilized in Regular Classes of Japanese Language at High Schools: Through Language Activities with “Writing” and “Typing” in “Logical Japanese” from the Perspective of Inclusive Education 64
- Development of Instruction to Foster the Ability to Question in “The Path of Electricity” for Junior High School Science for Students on the 1st Stage 75

Published by
Kirigaoka School for the Physically Challenged,
University of Tsukuba

Mar. 2024